

# 人工林健全化に対する森づくり事例

事業名 環境貢献林整備事業

市町名 安芸高田市

## 取組のきっかけ・経緯

・安芸北森林組合から人工林健全化の補助申請が提出され採択を行い、市内9箇所を実施した。

## 今後の展開

・今後も施業意欲のある森林所有者からの要望を聞き取りつつ、同様の事業を展開する予定である。

## 取組の内容

- ・事業主体: 安芸高田市
- ・実施場所: 安芸高田市美土里町生田、本郷、向原町保垣
- ・業務委託先: 安芸北森林組合
- ・業務量: 11.68ha
- ・業務金額: 4,857,000円
- ・業務期間: 令和7年1月14日  
～令和7年3月31日

### 【整備前】



## 取組後の感想

### 【良かった点】

・人工林健全化事業を行い、昨年以上に健全化が図られた。

### 【今後の課題】

・近年の降雪や強風により、間伐の施業を行っていない人工林について倒木が多く、さらなる取組を進めていく必要がある。

### 【整備後】



# 中学校と連携した取組事例

事業名 森林・林業体験活動支援事業

市町名 安芸高田市

## 取組のきっかけ・経緯

- ・ミツマタは和紙(特に紙幣用紙)の原料として、古くから栽培されてきた。しかし、最近では大量生産が容易な西洋紙に市場を奪われ減少傾向を続けている。このため、我が国固有の良質な製紙原料であるミツマタの生産を復活させる植樹を行う。
- ・甲田の地において、地域住民等が協働でミツマタを植樹し、その活動を通じて郷土を思い、夢を育み、向上する人づくりを目指す。

## 取組の内容

- ・事業主体: 甲田町資源を守る会
- ・実施場所: 安芸高田市甲田町
- ・協力: NPO法人ひろしま人と樹の会  
石州和紙会館  
公益財団法人 日本レスリング協会  
広島県レスリング協会  
フェニックスビジネス(株)
- ・参加人数: 90名
- ・業務金額: 301,000円
- ・日時: 令和7年3月14日

甲田中学校の生徒とミツマタの苗、シャクナゲ、ハナミズキを共同で植栽した。



## 今後の展開

- ・平成31年の事業開始当初の目標であった、中学生の植樹による卒業証書作りを目指してきた。今後も引き続き植樹を進めていきたい。

## 取組後の感想

- ・今年は、ミツマタ等の植樹に加え、浜田市から石州和紙会館の協力により、楮とトロアオイを混ぜたもので、和紙の紙漉き実習ができた。初めての経験で生徒も大変喜んでいて。今後も様々な体験と合わせて植樹に取り組みたい。

### 【活動の様子】



# 地域の森林一帯を活用するため整備を行った事例

事業名 特認事業(地域資源保全活用事業)

市町名 安芸高田市

## 取組のきっかけ・経緯

- ・平成25年から里山林の保全管理森林資源の活用について情報を得て、林野庁山村多面的機能発揮事業で【法恩地里山を守る会】を立上げ活動をしてきた。
- ・ひろしま森づくり事業の趣旨沿って引き続き活動し地区内を住みやすい地域にすることを目標とする。

## 取組の内容

- ・事業主体:『法恩地里山を守る会』
- ・実施場所:安芸高田市  
甲田町下小原法恩地
- ・業務(実施)量:
  - ①集落沿線鹿囲い(総延長2.5km)
  - ②簡易休憩小屋の設置
- ・業務金額(事業費総額):1,855,000円
- ・業務(実施)期間:令和4年~6年
- ・期間終了後継続し、集落周辺整備を行なう。
- ・大雪で破損した鹿囲いを補修(鳥獣対策)。

### 【補修作業の様子】



## 今後の展開

- ・間伐材を利用して簡易休憩小屋を設置し、地域内活動起点とする。又若者が集える活動拠点とする。
- ・参加者減少のなかで、集落を守って行きたい。

## 取組後の感想

- ・間伐材を再利用の為、木材の荒皮ムキ屋根は会員で仕上げする。相当大変な作業であった。

### 【休憩小屋設置及び進入路整備】



# 地域団体の森づくり活動活性化事例

事業名 特認事業(森林・林業体験活動支援)

市町名 安芸高田市

## 取組のきっかけ・経緯

・あきたかたの森構想プロジェクトは、森づくり活動をする地域団体が、自ら活動を活性化し、次世代へ繋いでいくため、森づくりの技術 や知識を習得していく活動をバックアップサポートする実績を積んできた。とくに、企画運営をするコア人材育成、安全講習会、体験活動支援、情報交換を目的にした活動をサポート。

## 今後の展開

・これまで安芸高田市を中心に、この活動で実績を積んできましたので、次年度は、この活動モデルを広島県内全域に活動範囲を広げる予定です。

## 取組後の感想

・企画実施の全般にわたり、課題は晩秋から冬にかけて、天候不順による中止・延期・縮小が相次いだこと。一方で気候の良い秋は、他イベントが多く、森の整備の本格シーズンで スタッフ調整が困難であった。これまでの活動の積み重ねにより、コア人材が自律的に企画を実施できるようになり、当会のサポートが 基礎的なものから、多様な企画のアイデア共有にシフトしてきた。



## 取組の内容

### ①山道作り講習(コア人材育成)

事業主体: 木の駅八千代

実施場所: 八千代町上根

業務量: 91名、8日間 / 業務金額:822,000円

業務期間: 7/15,9/21,22,23,10/27,11/16,12/8,9

内容:山道を自分達で必要最低限の規模で長期にメンテナンスできるよう構築するための地域人材を育成する講習。

### ②森林整備訓練、伐木薪集め(安全講習会)

事業主体: フォレストラボ向原

実施場所: 向原町坂、戸島

業務量: 9人、2日 / 業務金額:110,000円

業務期間: 12/19, 1/26

内容:ウインチ搬出、木登りなどのスキルをもとに安全に森を整備。発生する間伐材を薪などで持ち帰る代わりに作業を手伝う仕組みの試行。

### ③竹あかりWS(コア人材育成)

事業主体:向原LOVERS

実施場所:JR向原駅1階

業務量:9人、2日

業務金額:150,000円 業務期間:2025/1/25,2/22

内容:放置林を整備し、竹を活用するための地域の人材育成。

### ④林内木工教室(体験活動支援)

事業主体: あきたかたの森構想プロジェクト

実施場所: 安芸北森林組合、

吉田町iegoto,一場木工所

業務量: 36人、3日 / 業務金額:573,000円

業務期間: 11/4, 1/18,2/11

内容:間伐材を木工で活用。第1回 木箱をつくる(ミツバチの巣箱)、第2回 木を彫る(カトラリー)、第3回 製材を知り次へ(まな板)

### ⑤森づくり交流会(情報交換)

事業主体: あきたかたの森構想プロジェクト

実施場所: 吉田町旧郷野小学校

業務量: 44人、1日

業務金額: 333,000円 / 業務期間:2025/2/7

内容:西中国山地自然史研究会、ほしはら山のがっこうと共同開催。森づくりの課題を共有し、協力していくための交流会。

# 地域活性化を目的とした森林利用促進

事業名 特認事業(その他)

市町名 安芸高田市

## 取組のきっかけ・経緯

・農地に隣接し放置竹林が繁茂し猪やシカ等の住処となり農業被害が増えている現状がある。  
また、道路沿いに竹がせり出し、冬季には積雪により道路をふさぎ除雪作業の妨げとなっている。  
しかしながら、地域は高齢化が進み、竹林整備が困難となってきている為、地域貢献の一環として竹林整備を行い、伐採した竹の新たな利活用を目指す。

## 取組の内容

- ・事業主体： 株式会社ふれあい市
- ・実施場所： 美土里町生桑地域
- ・業務量： 竹林・荒廃林整備A=0.2ha、炭化設備整備、炭化作業
- ・業務金額(事業費総額)： 1,806,000円
- ・業務期間： 令和6年7月10日  
～令和7年3月31日

【整備の様子】



## 今後の展開

- ・竹炭を商品化し新たな産物としたい。
- ・建築資材としての炭の活用・竹炭米の生産拡大
- ・竹林整備後、地域住民と協力しタケノコ堀等のイベントを開催し、関係人口の創出をする。

## 取組後の感想

- ・竹炭の新たな活用例を模索して行くことにより、竹の量も必要になり、それにとまって竹林の整備も進んで行くと感じた。

